

**Sun Ultra 27** ワークス  
テーション **Linux** および **Solaris**  
オペレーティングシステムイ  
ンストールガイド



Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No: 821-0162-10  
2009年3月、Revision A

Sun Microsystems, Inc. (以下米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に含まれる技術に関連する知的財産権を所有します。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります。それらに限定されるものではありません。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者によって開発された素材を含んでいることがあります。

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。Intel は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Intel Inside は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn8 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。Copyright(C) OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. Copyright(C) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2009 All Rights Reserved.

「ATOK for Solaris」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for Solaris」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK」および「推測変換」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK for Solaris」に添付するフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

「ATOK for Solaris」に含まれる郵便番号辞書(7桁/5桁)は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です(一部データの加工を行なっています)。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれている情報は、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となる場合があります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段への使用は、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国が禁輸の対象としている国や、限定はされませんが、取引禁止顧客や特別指定国民のリストを含む米国輸出排除リストで指定されているものの輸出および再輸出は厳しく禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Linker and Libraries Guide

Part No: 817-1984-18

Revision A

# 目次

---

はじめに .....	5
<b>1 インストールの概要 .....</b>	<b>9</b>
プロセスフロー .....	9
<b>2 Solaris オペレーティングシステムのインストール .....</b>	<b>11</b>
オペレーティングシステムの選択と更新 .....	11
Solaris OS の BIOS の設定 .....	12
▼ Solaris OS の BIOS を設定する .....	12
LSI RAID 構成の設定 .....	12
▼ LSI RAID 構成を設定する .....	12
現在インストールされている OS の消去 .....	13
診断パーティションについて .....	13
▼ 現在インストールされている OS を消去する .....	13
Solaris OS のインストール .....	14
ドライバのインストール .....	14
▼ ドライバをインストールする .....	14
<b>3 Linux オペレーティングシステムのインストール .....</b>	<b>17</b>
オペレーティングシステムの選択と更新 .....	17
Linux の BIOS の設定 .....	18
▼ Linux の BIOS を設定する .....	18
LSI RAID 構成の設定 .....	18
▼ LSI RAID 構成を設定する .....	18
現在インストールされている OS の消去 .....	19
診断パーティションについて .....	19
▼ 現在インストールされている OS を消去する .....	19

Linux OS のインストール .....	20
ドライバのインストール .....	20
▼ Linux ドライバをインストールする .....	20
<b>A Linux および Solaris OS リモートイメージのインストール .....</b>	<b>23</b>
PXE サーバーからの Linux オペレーティングシステムのインストール .....	23
▼ PXE サーバーから Linux オペレーティングシステムをインストールする .....	23
JumpStart サーバーからの Solaris オペレーティングシステムのインストール .....	24
▼ JumpStart サーバーから Solaris オペレーティングシステムをインストールする ..	24

# はじめに

---

『Sun Ultra™ 27 ワークステーション Linux および Solaris™ オペレーティングシステムインストールガイド』では、Solaris および Linux オペレーティングシステムをインストールして構成する手順について説明します。

## 表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。  system%
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% <b>su</b> password:
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第5章「衝突の回避」を参照してください。  この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。

表 P-1 表記上の規則 (続き)

字体または記号	意味	例
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% <b>grep</b> '^#define \ XV_VERSION_STRING'

コード例は次のように表示されます。

- C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[ ] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

## 一般規則

- このマニュアルでは、英語環境での画面イメージを使っています。このため、実際に日本語環境で表示される画面イメージとこのマニュアルで使っている画面イメージが異なる場合があります。本文中で画面イメージを説明する場合には、日本語のメニュー、ボタン名などの項目名と英語の項目名が、適宜併記されています。

## マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトでは、次の追加リソースに関する情報も提供しています。

- マニュアル (<http://www.sun.com/documentation/>)
- サポート (<http://www.sun.com/support/>)
- トレーニング (<http://www.sun.com/training/>)

## Sun 以外の Web サイト

このマニュアルで紹介する Sun 以外の Web サイトが使用可能かどうかについては、Sun は責任を負いません。このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や、それらへの依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。

## コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルとパーツ番号を記載してください。Sun Ultra 27 ワークステーション Linux および Solaris オペレーティングシステム インストールガイド、821-0162





# ◆◆◆ 第 1 章

## インストールの概要

---

このガイドでは、プリインストールされた Solaris OS を使用しない場合に、オペレーティングシステム (Operating System、OS) をワークステーションにインストールする手順について説明します。

- Solaris OS のインストール手順については、[第 2 章「Solaris オペレーティングシステムのインストール」](#)を参照してください。
- Linux OS のインストール手順については、[第 3 章「Linux オペレーティングシステムのインストール」](#)を参照してください。
- Linux および Solaris のリモートイメージについては、[付録 A「Linux および Solaris OS リモートイメージのインストール」](#)を参照してください。

## プロセスフロー

[図 1-1](#)に、ワークステーションにオペレーティングシステムをインストールするためのプロセスフローを示します。

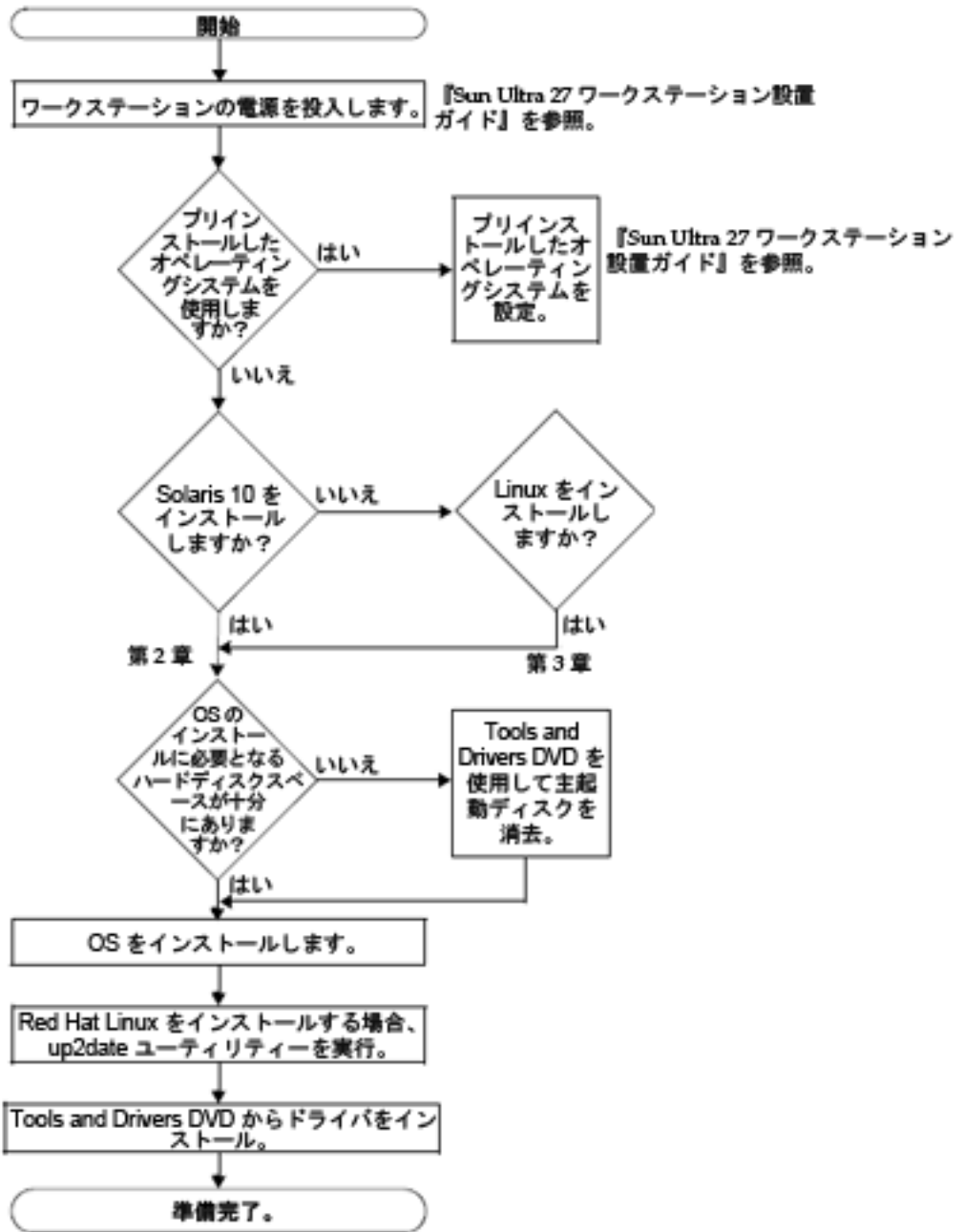


図1-1 インストールのフロー図

# Solaris オペレーティングシステムのインストール

---

この章では、プリインストールされた Solaris OS を使用せずに、ワークステーションに Solaris OS をインストールする方法について説明します。

この章には、次のセクションが含まれています。

- 11 ページの「オペレーティングシステムの選択と更新」
- 12 ページの「Solaris OS の BIOS の設定」
- 12 ページの「LSI RAID 構成の設定」
- 13 ページの「現在インストールされている OS の消去」
- 14 ページの「Solaris OS のインストール」
- 14 ページの「ドライバのインストール」

## オペレーティングシステムの選択と更新

Solaris OS は、ワークステーションにプリインストールされています。旧バージョンの Solaris OS はサポートされていません。

現在インストールされているバージョンの Solaris OS を入れ替える場合は、次の Web サイトから Solaris OS をダウンロードできます。

<http://www.sun.com/software/solaris/>

次のオペレーティングシステムがサポートされています。

- Solaris 10/08

## Solaris OS の BIOS の設定

SATA は、デフォルトでは、BIOS 内で AHCI として構成されています。

- BIOS を変更しなかった場合は、この設定を実行する必要はありません。
- BIOS の「構成された SATA (Configured SATA As)」オプションが正しく設定されていることを確認するには、次の手順に従います。

### ▼ Solaris OS の BIOS を設定する

- 1 ワークステーションの電源を投入します。
- 2 Sun のロゴの画面で F2 キーを押して、「BIOS 設定 (BIOS Setup)」メニューに切り替えます。
- 3 「詳細 (Advanced)」、「統合デバイス (Integrated Devices)」の順に選択します。
- 4 必要な場合は、「構成された SATA (Configured SATA As)」オプションを「AHCI」に変更します。
- 5 F10 キーを押して、変更を保存し、BIOS の設定を終了します。

## LSI RAID 構成の設定

RAID 構成を設定するには、次の手順に従います。

### ▼ LSI RAID 構成を設定する

- 1 BIOS 部分の起動中に、Control + C キーを押して、LSI 構成ツールを開きます。
- 2 必要な SAS コントローラを選択し、Enter キーを押します。
- 3 RAID プロパティを選択します。
- 4 使用する RAID アレイのタイプを選択します。
- 5 RAID に含めるボリュームを選択します。



注意 - 特定の RAID に SAS ボリュームと SATA ボリュームを混在させないでください。

- 6 アレイを設定したら、変更を保存し、終了します。

注 - IM アレイと IM RAID アレイを作成すると、システムは自動リセットを実行し、書き込みキャッシュ機能を有効にします。

## 現在インストールされている OS の消去

現在インストールされている OS を消去するために、Tools and Drivers DVD を使用して、起動ハードドライブ上のパーティションを消去できます。「プライマリ起動ハードディスクの消去 (Erase Primary Boot Hard Disk)」オプションを使用すると、診断パーティションを除くすべてのパーティションが消去されます。

### 診断パーティションについて

システム診断ソフトウェアには、テストスクリプトを書き込むための診断パーティションが必要です。診断パーティションがない場合は、診断画面に出力が表示されるだけです。

このセクションに示す手順では、診断パーティションは削除されません。

不注意で診断パーティションが削除された場合は、Tools and Drivers DVD で「診断パーティションの作成 (Create Diagnostic Partition)」オプションを使用して、診断パーティションを作成し直してマウントできます。手順については、『Sun Ultra 27 Workstation Service Manual』を参照してください。

## ▼ 現在インストールされている OS を消去する



注意 - 「プライマリ起動ハードディスクの消去 (Erase Primary Boot Hard Disk)」オプションは、診断パーティションを除く、ハードドライブ上のすべてのパーティションおよびすべてのユーザーデータを消去します。この操作を開始する前に、ハードディスクの全データをバックアップしてください。

診断パーティションを除く、プライマリ起動ハードドライブ上のすべてのパーティションを消去するには、次の手順に従います。

- 1 ハードドライブ上に必要なデータがあれば、バックアップしておきます。

- 2 **Tools and Drivers DVD** をワークステーションに挿入します。
- 3 メインメニューが表示されたら、**Tools and Drivers DVD** のメインメニューから次のオプションを選択します。
  - 4 「プライマリ起動ハードディスクの消去 (Erase Primary Boot Hard Disk)」  
このオプションを選択すると、プライマリハードドライブ上に現在あるすべてのパーティション (診断パーティション以外) が消去されます。診断パーティションが存在する場合は、そのまま残ります。

## Solaris OS のインストール

Solaris OS をインストールするには、<http://docs.sun.com> に掲載されている手順をオンラインで参照してください。

以前に作成されたりモートイメージをインストールするには、「[24 ページの「JumpStart サーバーからの Solaris オペレーティングシステムのインストール」](#)」を参照してください。

## ドライバのインストール

OS のインストール後、**Tools and Drivers DVD** で提供されているインストールスクリプトを実行して、OS に対応するドライバをインストールします。

**Tools and Drivers DVD** は、ワークステーションに付属しています。

---

注 - **Tools and Drivers DVD** には、診断パーティションを作成し直してマウントするためのツールも含まれています。不注意で診断パーティションを消去してしまった場合以外は、これを実行する必要はありません。詳細については、『[Sun Ultra 27 Workstation Service Manual](#)』を参照してください。

---

Solaris OS を新規でインストールする場合は、次の手順に従ってドライバをインストールしてください。

### ▼ ドライバをインストールする

- 1 スーパーユーザーとしてシステムにログインします。
- 2 **DVD** ドライブに **Tools and Drivers DVD** を挿入します。  
Solaris OS により DVD が自動マウントされます。

- 3 次のコマンドを入力して、`/cdrom/cdrom0/drivers/sx86` ディレクトリへ移動します。  
`# cd /cdrom/cdrom0/drivers/sx86`
- 4 次のコマンドを入力して、インストールスクリプトを実行します。  
`# ./install.sh`  
システムドライバがインストールされます。  
インストールが完了すると、変更を有効にするためにシステムをリブートするよう求めるプロンプトが表示されます。
- 5 **Y**キーを押してリブートします。または、**N**キーを押して手動でリブートすることもできます。
- 6 **DVD**ドライブから**DVD**を取り出します。
- 7 システムのネットワーク情報を求めるプロンプトが表示されたら、サーバーへアクセスするためのネットワーク情報を入力します。





# Linux オペレーティングシステムのインストール

---

この章では、プリインストールされた Solaris OS を使用せずに、ワークステーションに Linux OS をインストールする方法について説明します。

この章には、次のセクションが含まれています。

- 17 ページの「オペレーティングシステムの選択と更新」
- 18 ページの「Linux の BIOS の設定」
- 18 ページの「LSI RAID 構成の設定」
- 19 ページの「現在インストールされている OS の消去」
- 20 ページの「Linux OS のインストール」
- 20 ページの「ドライバのインストール」

## オペレーティングシステムの選択と更新

このワークステーションでは、次の Linux オペレーティングシステム (またはそれ以上のバージョン) がサポートされています。

- Red Hat Enterprise Linux Client Release 5.3、32 ビットおよび 64 ビット
- SUSE Linux Enterprise Desktop (SLED) 10 SP2、64 ビットのみ

ワークステーション対応の Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux Enterprise Desktop は、次の Sun Web サイトで注文できます。

<http://www.sun.com/software/linux/index.html>

## LinuxのBIOSの設定

SATAは、デフォルトでは、BIOS内でAHCIとして構成されています。このオプションがBIOSで正しく設定されていることを確認するには、次の手順に従います。

### ▼ LinuxのBIOSを設定する

- 1 ワークステーションの電源を投入します。
- 2 Sunのロゴの画面でF2キーを押して、「BIOS設定(BIOS Setup)」メニューに切り替えます。
- 3 「詳細(Advanced)」、「統合デバイス(Integrated Devices)」の順に選択します。
- 4 必要な場合は、「構成されたSATA(Configured SATA As)」オプションを「AHCI」に変更します。
- 5 F10キーを押して、変更を保存し、BIOSの設定を終了します。

## LSI RAID構成の設定

LSIのRAIDアレイを構成するには、次の手順に従います。

### ▼ LSI RAID構成を設定する

- 1 BIOS部分の起動中に、Control+Cキーを押して、LSI構成ツールを開きます。
- 2 必要なSASコントローラを選択し、Enterキーを押します。
- 3 RAIDプロパティを選択します。
- 4 必要なRAIDアレイのタイプを選択します。
- 5 RAIDに含めるボリュームを選択します。



注意 - 特定のRAIDにSASボリュームとSATAボリュームを混在させないでください。

---

- 6 アレイを設定したら、変更を保存し、終了します。

---

注-IM アレイおよびIME RAID アレイを作成すると、システムは自動リセットを実行し、キャッシュ機能を有効にします。

---

## 現在インストールされている OS の消去

現在インストールされている OS を消去するために、Tools and Drivers DVD を使用して、起動ハードドライブ上のパーティションを消去できます。「プライマリ起動ハードディスクの消去 (Erase Primary Boot Hard Disk)」オプションを使用すると、診断パーティションを除くすべてのパーティションが消去されます。

### 診断パーティションについて

システム診断ソフトウェアには、テストスクリプトを書き込むための診断パーティションが必要です。診断パーティションがない場合は、診断画面に出力が表示されるだけです。

このセクションに示す手順では、診断パーティションは削除されません。

不注意で診断パーティションが削除された場合は、Tools and Drivers DVD で「診断パーティションの作成 (Create Diagnostic Partition)」オプションを使用して、診断パーティションを作成し直してマウントできます。手順については、『Sun Ultra 27 Workstation Service Manual』を参照してください。

## ▼ 現在インストールされている OS を消去する



---

注意- 「プライマリ起動ハードディスクの消去 (Erase Primary Boot Hard Disk)」オプションは、診断パーティションを除く、ハードドライブ上のすべてのパーティションおよびすべてのユーザーデータを消去します。この操作を開始する前に、ハードディスクの全データをバックアップしてください。

---

診断パーティションを除く、起動ハードドライブのすべてのパーティションを消去するには、次の手順に従います。

- 1 ハードドライブ上に必要なデータがあれば、バックアップしておきます。
- 2 **Tools and Drivers DVD** をワークステーションに挿入します。
- 3 メインメニューが表示されたら、**Tools and Drivers DVD** のメインメニューから次のオプションを選択します。
  3. 「プライマリ起動ハードディスクの消去 (Erase Primary Boot Hard Disk)」

このオプションを選択すると、プライマリハードドライブ上に現在あるすべてのパーティション(診断パーティション以外)が消去されます。診断パーティションが存在する場合は、そのまま残ります。

## Linux OS のインストール

Linux のマニュアルの説明に従い、配布メディアから Linux をインストールします。

- Red Hat Enterprise Linux OS をインストールする場合は、OS をインストールしたのち、ビデオドライバをインストールする前に、`up2date` ユーティリティーを実行します。
- NVIDIA ビデオドライバがすでにインストールされている場合は、`up2date` を実行してから、`install.sh` スクリプトを実行します。

## ドライバのインストール

OS のインストール後、Tools and Drivers DVD で提供されているインストールスクリプトを実行して、OS に対応するドライバをインストールします。

Tools and Drivers DVD は、ワークステーションに付属しています。

---

注 - Tools and Drivers DVD には、診断パーティションを作成し直してマウントするためのツールも含まれています。不注意で診断パーティションを消去してしまった場合以外は、これを実行する必要はありません。詳細については、『Sun Ultra 27 Workstation Service Manual』を参照してください。

---

### ▼ Linux ドライバをインストールする

Linux ドライバをインストールするには、次の手順に従います。

- 1 スーパーユーザーとしてシステムにログインします。
- 2 **Tools and Drivers DVD** を DVD ドライブに挿入し、次を入力します。

```
# cd /mountpoint/drivers/linux/operating_system
```

各表記の意味は次のとおりです。

*mountpoint* は、DVD がマウントされるディレクトリです。

`operating_system` は、ワークステーションにインストールされている Linux OS の種類です。

- ディレクトリが存在しない場合、DVD は自動マウントされません。DVD をマウントし、[手順 3](#) と [手順 4](#) に示すとおり、正しいディレクトリに変更する必要があります。

- `operating_system` ディレクトリにアクセスできる場合は、[手順 5](#) に進みます。

- 3 DVD が自動マウントされない場合、端末ウィンドウを開き、次のコマンドを入力して DVD をマウントします。

```
# mount -o ro /dev/cdrom /mountpoint
```

`mountpoint` は、OS と光学式ドライブの種類に応じたマウントポイントです。

たとえば、次のように入力します。

```
# mount -o ro /dev/cdrom /mnt/dvdrom
```

- 4 `/mountpoint/drivers/linux/operating_system` ディレクトリへ移動します。

各表記の意味は次のとおりです。

`mountpoint` は、DVD がマウントされるディレクトリです。

`operating_system` は、ワークステーションにインストールされている Linux OS の種類です。

たとえば、次のように入力します。

```
# cd /mnt/dvdrom/drivers/linux/red_hat
```

- 5 次のコマンドを入力して、インストールスクリプトを実行します。

```
# ./install.sh
```

X サーバーが稼動している場合、このスクリプトは実行されません。

- スクリプトを終了し、エラーメッセージが表示された場合は、[手順 6](#) に進みます。
- スクリプトが正しく実行された場合は、[手順 7](#) に進みます。

- 6 スクリプトを終了し、エラーメッセージが表示された場合は、次の手順に従って X サーバーを無効にします。

- a. システムプロンプトで次を入力します。

```
% init 3
```

- b. スーパーユーザーとしてログインします。
  - c. [手順4](#)と[手順5](#)を繰り返します。
- 7 ドライバのインストールが完了したら、**DVD**を取り出します。
  - 8 ワークステーションを再起動します。

# Linux および Solaris OS リモートイメージのインストール

---

この付録では、リモートイメージから Linux および Solaris OS をインストールする方法を説明します。この章は、次の節から構成されています。

- 23 ページの「PXE サーバーからの Linux オペレーティングシステムのインストール」
- 24 ページの「JumpStart サーバーからの Solaris オペレーティングシステムのインストール」

## PXE サーバーからの Linux オペレーティングシステムのインストール

### ▼ PXE サーバーから Linux オペレーティングシステムをインストールする

次の手順は、PXE サーバーがシステムと同じネットワーク上に設定されており、PXE イメージがサーバーにロードされていることを前提としています。

PXE サーバーから起動するには、次の手順に従います。

- 1 システムブートの BIOS 部分の間に、F8 キーを押して、起動メニューを表示します。
- 2 「Intel® Boot Agent IBA GE」起動オプションを選択します。
- 3 インストールするイメージを選択します。
- 4 インストールが完了したら、再起動します。

- 5 **Tools and Drivers DVD** からドライバを手動でインストールするための指示に従います。

## JumpStart サーバーからの Solaris オペレーティングシステムのインストール

---

注- 始める前に、JumpStart™ サーバーで、Intel Ethernet ドライバ (e1000g) を含む Solaris イメージを作成して配置します。Solaris OS には、e1000g ドライバは含まれていません。JumpStart のインストールの詳細については、『Solaris 10 7/07 Installation Guide: Custom JumpStart and Advanced Installations』(819-5778) を参照してください。

---

### ▼ JumpStart サーバーから Solaris オペレーティングシステムをインストールする

Solaris OS をインストールするには、次の手順に従います。プリインストールされた Solaris OS を再インストールするには、『Sun Ultra 27 Workstation Service Manual』を参照してください。

- 1 BIOS 部分の起動中に、**F8** キーを押して、起動メニューを表示します。
- 2 「**Intel Boot Agent IBA GE**」起動オプションを選択します。
- 3 システムは自動的にインストールプロセスを開始し、インストールが完了すると再起動します。
- 4 **JumpStart** イメージがドライバを事前にロードするように構成されているのでなければ、**14 ページの「ドライバのインストール」**の説明に従いドライバをインストールします。